

## 公開シンポジウム

# エボラ出血熱対策の現状と治療・診断法の開発



## ーフランスと日本の取組み

開催日程：平成 27 年 6 月 7 日（日）13：30—16：30

開催場所：聖路加国際大学・アリスホール

〒104 - 0044 東京都中央区明石町 10-1

これまで発生した 20 回余りの感染アウトブレイク各症例数の合計を上回る感染症例数の報告を示した今般の西アフリカ地域でのエボラ出血熱。

リベリア国境に近いギニア・メリアンドウという森林地域で最初の感染症例が確認されたのが 2013 年 12 月、その周辺の感染は一時期食い止められたといわれていたが、3 月に症例が急増した。その後、西アフリカ地域では雨季を迎え、エボラ出血熱感染源への暴露リスクが高まり、感染者急増に見合う医療施設、医療スタッフ・リソースの絶対的な不足、それにとまなう医療サービスの質的・量的確保の困難さ、医療支援者の二次感染等、さまざまな感染拡大ルートを通り、人々はエボラウイルスの脅威をあらためて思い知らされる状況となった。「今回のエボラは簡単には制圧できない」、感染流行地でのパニックが高まる中、様々な情報チャネルを通じて国際社会への警笛が鳴らされ始めた。

ギニアとは歴史的に深いつながりをもつフランスでは、誰も経験したことのない現地での臨床研究と治療法開発へ向けた動物実験の並行実施という先進的取組みを決断し、欧州関係研究機関の連携活動を牽引することとなった。一方、国際的な研究開発市場において、また公衆衛生対策上の取組みとして多くの治療対策が講じられる中で、エボラ出血熱に対して本邦開発医薬品および診断方法がポテンシャルを示している。

これから現地ではまた雨季を迎える。「感染者ゼロ」を目指し、また将来のアウトブレイク鎮圧に備えて動き出した国際的な研究開発・実践対策連携と、それを支える日本の産官学協力の重要事例を紹介する。

## 予定プログラム（日英同時通訳あり）

開会のご挨拶 福井 次矢 聖路加国際大学 理事長

（敬称略）

### 導入講演

「西アフリカにおけるエボラ出血熱の流行と対策の概況」

齋藤 智也 国立保健医療科学院

「ウイルス RNA ポリメラーゼ阻害剤 ファビピラビル（T-705）-研究開発の経緯-

古田 要介 富山化学工業(株)

招待講演 「Issues in evaluating experimental therapeutics for containment of EVD outbreaks」

（エボラウイルス疾患アウトブレイク鎮圧に向けた治療薬の研究評価における課題）

Denis Jean Marie Malvy（デニス・ジャンマリー・マルビー）

ボルドー大学 医学部熱帯保健医学研究所・医療センター感染症熱帯病部門 教授

フランス国立保健医療研究所（Inserm, Unit 897）永久上席研究員

Claire Levy-Marchal（クレア・レヴィマーシャル）

フランス国立保健医療研究所（Inserm）・臨床研究部門 統括・上席研究員

### 研究成果報告

「エボラ出血熱の迅速診断法（RT-LAMP 法）の開発とギニア展開」：安田 二郎 長崎大学 熱帯医学研究所

指定発言と討議（コーディネーター 竹内 勤 聖路加国際大学）（詳細未定）

開会のご挨拶 岩本 愛吉 日本医療研究開発機構 科学技術顧問

## 参加登録

◆どなたでも聴講いただけますが、事前登録制となっております。下記 URL よりお申し込みください。

申込 URL : <https://www.slc.n.ac.jp/event/ebola/form.html>

定員 : 200 名

申込締切 : 2015 年 5 月 29 日※定員に達した場合、締切日前でも申し込みを締め切らせていただきます。

◆メディア関係の方のご参加は、必ず事前に本学所定の取材申込書をご提出ください。

取材申込書 URL : <http://hospital.luke.ac.jp/press/index.html>

取材申込書送付先 : FAX 03-6226-6376 (法人事務局広報室) ※上記 HP 記載の手順でお申し込みください。

取材申込締切 : 2015 年 5 月 29 日

【本シンポジウムの取材に関するお願い】

取材の際は下記の点についてご協力くださいますようお願い申し上げます。

①座席数が限られているため、取材人数は1社2名まででお願いいたします。

②公演中の撮影に関しては次の通りお願いいたします。

・フラッシュは使用しないでください。

・ケーブル接続を要する機器の使用はご遠慮ください。

③駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。

【問い合わせ先】

一般参加に関するお問合せ : 聖路加国際大学 エボラ出血熱対策研究班 6月イベント事務局

担当 : 公衆衛生大学院設置準備室(前平) 研究事務室(中澤)

メールアドレス : [report.of.ebola@slcn.ac.jp](mailto:report.of.ebola@slcn.ac.jp) FAX 03-6226-6397

取材に関するお問合せ : 聖路加国際大学法人事務局広報室

TEL : 03-6226-6366 メールアドレス : [pr@luke.ac.jp](mailto:pr@luke.ac.jp)

会場への交通アクセス (<http://www.slc.n.ac.jp/access/>)

公共交通機関をご利用の上お越し下さい。※誠に恐れ入りますが、お車でのご来校はご遠慮頂いております。



地下鉄にてご来場の場合

■東京メトロ 日比谷線 築地駅3番出口または4番出口を出て、デニーズと東京トヨペットの間を直進(徒歩3分)

■東京メトロ 有楽町線 新富町駅6番出口を出て、一つ目の道を右折して直進(徒歩5分)

バスにてご来場の場合

■都営バス 錦11系統(錦糸町駅前発 新大橋・茅場町経由 築地駅前 行き) 築地駅前 停留所(終点)下車 徒歩3分

■都営バス 東15系統(深川車庫発 豊洲駅・明石町経由 東京駅八重洲口 行き) 聖路加病院前 停留所下車 徒歩1分

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



新興・再興感染症に対する革新的医薬品開発推進研究事業  
「エボラ出血熱に対する治療薬、診断薬の開発に関する研究」

事業責任者 :

竹内 勤 聖路加国際大学 特任教授

研究分担者

古田 要介 富山化学工業(株)

高田 礼人 北海道大学

山下 武美 協和発酵キリン(株)

安田 二郎 長崎大学

後藤 浩朗(株) 東芝ヘルスケア社

研究協力者

齋藤 智也 国立保健医療科学院

前平 由紀 聖路加国際大学

樽井 正義 慶応義塾大学

山田 光一 富山化学工業(株)

Alan L. Jakimo Hofstra Law School

天野 修司 日本医療科学大学